

男声合唱団「昴」 指揮 本並美德・檀美知生 ピアノ近藤静

—指揮 本並美德—

サリーマライズ（編曲 中村仁策/本並美德）

- ・ 素朴な労働者の温かなうたごえが響いてくる。ふるさとの自然、人々への愛が、おおらかに高らかに歌われていたよ。

白樺

- ・ 世界を戦禍から、最大の戦死者（750万人—兵士だけで）の犠牲を払って平和を取り戻したソビエト兵士の鎮魂歌。
- ・ 歌のドラマチックな構成の変化につれ、起承転結の演奏構成が芸術性豊かに発展していく。この歌の今までの長い蓄積の上に一番光っていた。

航路

- ・ いい歌ですね。しみじみとした人間的な愛の豊かさが、潮の満ちてくるように響いてくる。（拍手多し）

果てもなき荒野原

- ・ ソローのびやかに荒野に響き渡る。
- ・ ゆったりとした合唱に支えられ、後半からしだいに音量、表現とも盛り上がり、最後、荒野の果てに静に消えていく。こんな男声合唱の醍醐味を味わえる名曲は、めったに聞けなくなっているので、ロシヤ民謡を始め、積極的に次々開拓してほしい。

千の風になって（コーラスアレンジ／大田櫻子）

- ・ アメリカ・イギリス・アイルランドの原住民の詩か？「死んでも、どこかで生きている」・・・という、言い伝えか？
- ・ いい詩と歌ですね。この歌を、大きくたっぷりした声で歌うには、もっと息の深さを。